

平成 19 年度第 7 回 下山地域会議 会議録

【日 時】平成 20 年 2 月 27 日（水） 19：00～20：30

【場 所】下山支所 2 階会議室

【出席者】委員 14 名（2 名欠席）

事務局（支所長 永田 酒井 川合 加藤）

【次 第】1 開会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員指名

4 前回会議録の承認

5 協議事項

（1）提言書について

（2）平成 20 年度わくわく事業の募集要項について

6 報告事項

（1）路線バス豊田下山線のダイヤ改正について

（2）あったかフェスタについて

（3）活動記録について

7 閉会

【内 容】

1 会長あいさつ

2 会議録署名委員指名

鈴木重郎委員を指名

3 前回会議録の承認

全委員承認

4 協議事項

（1）提言書について

わくわく事業補助団体への行政の支援

下山地区では、13 団体がわくわく事業で地域づくり活動に取り組んでいます。中には公共性のある事業もあるので、行政による人的、経費的な面での永続的な支援が不可欠なので、わくわく事業から地域の固有事業として行政の支援をお願いしたいと思います。

地域の特性を踏まえた保育体制の見直し

放課後児童クラブの保育時間は、授業終了後から午後 6 時までが原則であります。しかし、下山地区住民の勤務地は、ほとんどが遠隔地のため、通勤に時間を要し保育終了時間に間に合わないのが現状であります。また、対象児童が小学校 3 年生までのため、同一家庭内で対象と対象外児童が発生しかねません。これらのことから、地区の実情を踏まえ、保育時間の延長、対象児童

の拡大など保育体制の見直しの検討をお願いしたと思います。

廃校施設を活用した産地直売所の開設

高齢者が生きがいをもち、楽しみながら生き活きと働くことができる仕組みとして「農産物等の生産直売」に着目し、生産から販売に至る仕組みづくりや産地直売所のネットワーク化を目指して各種方策の検討・取組みを進めてきました。このような中で、拠点となる産地直売施設が必要であります。そこで、現在計画が進行している廃校施設の利活用計画の中で、旧三巴小学校に拠点となる産地直売施設の整備を提言します。

若者や女性が参加できる新たなしくみづくり

若者や女性の声を地域づくりに反映させることが必要であります。現状ではその大切な声が生かされる方法も組織もありません。そこで「若者や女性が参加できる新たなしくみづくり」が必要であり、それが各自治区を中心に下山地区の全域に広がるしくみとして定着することを提言します。

(2) 平成 20 年度わくわく事業の募集要項について

応募期間を 4 月 1 日から 5 月 9 日までとし、審査日時については、新任地域会議委員の研修会時に決めていきます。応募についての住民周知については、3 月の支所だよりと同報無線にて周知を図っていきます。

5 報告事項

(1) 路線バス豊田下山線のダイヤ改正について

名鉄バス「豊田下山線」が廃止になることに伴い、下山地区と市中心街を連絡する「とよたおいでんバス下山・豊田線」が 4 月 1 日から運行します。運行ルートが見直され所要時間が 10 分短縮され料金も見直しがされます。

(2) あったかフェスタについて

3 月 1 日にスカイホール豊田において「あったかフェスタ」が開催されます。支所からバスを出しますので皆さんの参加をよろしくお願ひします。